

いずみ izumi vol.64

令和3年
秋号



※一昨年の写真です。

ごあいさつ

日頃よりいずみえんの運営にご理解・ご協力賜り、厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルスも少しずつ収束の兆しが見え始め、いずみえんでは10月1日から時間を限定しての面会を再開したところです。

毎年8月1日はいずみえんの開園記念日です。その開園記念日に合わせて毎年納涼祭を実施してまいりましたが、昨年は新型コロナウイルスの影響から中止としたため、「今年こそは」とぎりぎりまで計画しておりました。しかし、今年も全国的な感染者数の増加に伴い、納涼祭の開催は感染予防の観点から中止と判断いたしました。

新型コロナウイルスの一日でも早い収束を祈りつつ、来年はみなさまのご期待以上の納涼祭を盛大に実施出来るように計画していきます。

支援2課 課長 稲干将人

法人理念

「働き易い職場を創り、快適なサービスを提供する。」

敬老式典



令和3年9月20日（月）、感染防止の観点から今年も式典は行わず、フロアごとに分かれてご利用者様の長寿と健康をお祝いしました。

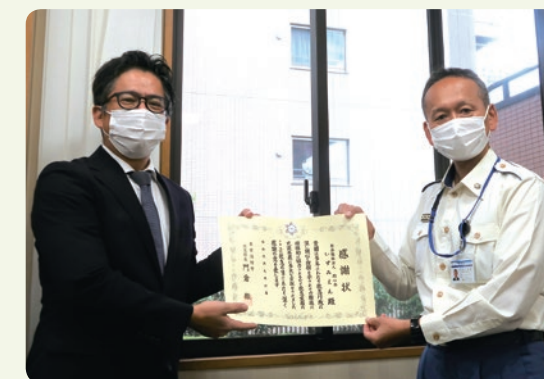
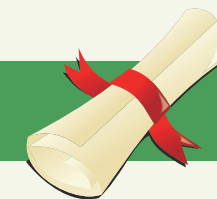
職員による三味線の演奏など、ご利用者様に喜んでいただけるよう出し物が披露されました。中でもあゆみ保育園の園児から届いた心温まるビデオレターには、皆様一様に目を細められて覧になっていました。

これからも、お元気で、楽しい時間をいずみえんでお過ごしいただけたらと思っております。

相談課 課長 今泉保隆



防災感謝状授与



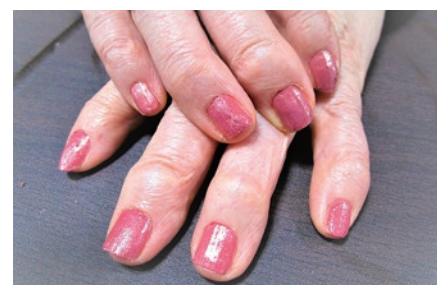
令和3年度矢口消防署より、日ごろの訓練など、防災意識を高める取り組みを実施している団体に贈られる「感謝状」をいずみえんが授与しました。災害はいつ起こるかわかりません。ご利用者と自分の命を守るために、今後も防災訓練を実施し、災害の際に地域に頼られる。そんな施設を目指していきたいと思っております。

総務課 係長 榛葉琴充

指先に きらめきを

外へのお出かけ機会が減っている今、日々の生活での楽しみが増えるよう、フロア内でネイルサロンを開催しています。保湿をしながらハンドマッサージを行い、好きな色や今の気分にあった色のマニキュアを選んでいただきます。あの色かこの色かと選んで決めるひとときも、心が弾んでいるようです。丁寧に爪が彩られていくと、一段と表情がほころび「良い色ね、きれいね」と喜ばれていました。艶やかにきらめいた指先が、ご利用者の日常にささやかな潤いをもたらしてくれることを願っています。

介護3課 初瀬洋子



栄養係コラム

郷土料理のご紹介



いずみえんでは、北は北海道から南は沖縄県まで、毎月さまざまな郷土料理を提供しています。時にはB級グルメも取り入れ、日常と一味違った食事の提供も心がけています。

今回、特に人気のあった岡山県のたまの温玉めし、岐阜県の高山ラーメン、佐賀のシシリアンライスをご紹介します。

これからも日常の食事はもちろんのこと、行事食やさまざまな郷土料理の提供を行い、心身ともに健やかに過ごしていただけないように努めて参ります。

栄養係 係長 西本亜紀

中途職員紹介

私の強みは健康であることです。体力には自信が有り、自身の健康管理も大事な仕事の一部だと思っています。1日でも早く仕事に慣れ、健康を維持し邁進していきたいと思っています。

介護の仕事をするのは初めてです。ご利用者にとってより良い生活が送れるサポートができるように、多くを学び、自分なりに体現できるように頑張ります。

1年半程訪問介護を行っていました。施設介護は初めてで1から勉強したいと思っています。ご利用者と職員みなさまに信頼される介護士を目指します。よろしくお願いします。

初めての事ばかりで教えていただきながらお一人お一人を大切に、楽しく安全でおいしいお食事の提供、そして何より健康に過ごせるよう関わることが出来ればと思っています。



中野裕子
(介護1課)



大森 和
(介護2課)



櫻井文音
(介護3課)



新田佳子
(栄養係)



いずみ VOL.64

発行 社会福祉法人 徳心会
福祉施設 いずみえん 広報委員会
〒146-0093 東京都大田区矢口3丁目1番5号
TEL. 03-3759-5550 FAX. 03-3759-5634

発行人 統轄園長 鴨田弘樹
編集人 広報委員長 眞弓勉

発行日 令和3年10月15日

E-mail izumien@tokushinkai.jp

H P <https://tokushinkai.jp/>



※写真につきましては、ご利用者およびご家族の了解を得て掲載しております。
※撮影のため一部マスクをはずしております。

風天

仲秋の候、計画していた納涼祭も中止となり、ご利用者と我々職員にとっても「普段通り」を忘れてしまいそうになるご時世ですが、職員はこんな時だからこそできること、工夫を凝らし今後も様々なイベントを計画し、実施していきたいと思っています。

総務課 係長 榛葉琴充